

HPVワクチン接種で

# 子宮頸がんを予防しよう！

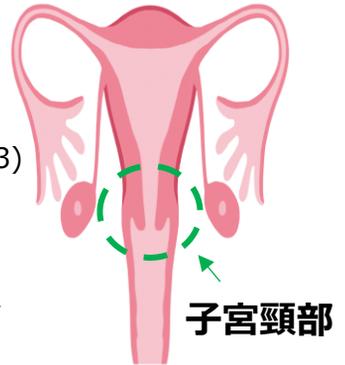
## 子宮頸がんとは？

- ・子宮頸がんは子宮頸部にできるがんで、ほとんどはHPV(ヒトパピローマウイルス)(※1)というウイルスの感染が原因です。
- ・感染する原因は主に性交渉といわれており、女性の多くが一生涯に一度は感染する(※2)といわれるウイルスです。
- ・HPVワクチンは子宮頸がんの原因の50～90%を防ぐことができます。(※3)

※1 HPVには200種類のタイプ(型)があり、子宮頸がんの原因と分かっているのはそのうちの少なくとも15種類あります。

※2 感染してもほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。

※3 HPVワクチンは防ぐことができるHPVのタイプによって「2価ワクチン(サーバリックス®)」、「4価ワクチン(ガーダシル®)」、「9価ワクチン(シルガード®9)」の3種類あります。



## HPVワクチンの接種スケジュール(9価ワクチンの場合)



(出典) 厚生労働省 HPV感染症～子宮頸がんとHPVワクチン～



## 無料接種の対象者

(いずれもお住まいの市町村からお知らせがあります)

### 定期接種

小学6年生～  
高校1年生相当の女性

※2008年度生まれの方で、定期接種が完了していない場合、2025年3月末までに1回以上接種していれば、残りの接種も無料で受けられます。(2026年3月まで)

### キャッチアップ接種

1997年4月2日～  
2008年4月1日生まれの女性

※定期接種の機会を逃した方を対象に実施する予防接種をキャッチアップ接種といいます。

## HPVワクチンのキャッチアップ接種をまだ受けていない女性の方へ

2025年3月までにキャッチアップ接種で  
1回以上接種した方は、  
2026年3月まで無料で接種ができます。



※この期間を逃すとHPVワクチンを3回接種するのに最大約10万円程度かかります。  
接種の具体的な手続きについては、お住まいの市町村へ問い合わせください。

